

## ☆ 長くつ下のピッピ

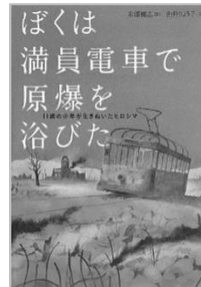
リンドグレン作 岩波書店



世界一つよい女の子、ピッピのゆかいな物語です。ピッピは、ごたごた荘で自由気ままに暮らしています。ピッピが活躍するお話は、他に2冊あります。

## ぼくは満員電車で原爆を浴びた

米澤鐵志語り 由井りょう子文 小学館



ぼくは爆心からわずか750メートルの場所で被爆した米澤鐵志さん。1945年8月6日と、その後に何が起きたのか、11歳の少年の記憶が1冊の本になりました。

## ☆ 魔女の宅急便

角野栄子作 福音館書店



女の少女キキ。新しい町で黒猫のジジと一緒に、空飛ぶ「宅急便屋さん」を始めることにします。シリーズは全部で6冊あります。

## みのり 美乃里の夏

藤巻史絵作 福音館書店



夏のある日、美乃里は同じ名前を持つ男の子と出会います。「美乃里」と「実」。ふたりの「みのり」は、町の小さな銭湯のそうじを手伝うことになるのですが…。

# 2020

# 夏休みにすすめる本

## 5・6年生のみなさんへ



※文字を読むのがむずかしい方は、音声版を利用できます。  
図書館へご相談ください。

### おうちの方へ

ここに紹介する本は、調布市内の読書指導を研究する先生方と図書館の協力で、実践の中から選んだものです。

刊行物番号 2020-48

令和2年7月7日 発行

調布市立小学校  
教育研究会図書館研究部  
調布市立図書館

### 表紙写真は

『アヤカシさん』（福音館書店）  
『シャイローがきた夏』（あすなろ書房）  
『ことばハンター』（ポプラ社）

## アヤカシさん

富安陽子作 福音館書店



ケイには、十歳しか離れていないメイおばさんがいます。じつは、ふたりには誰にも知られていない重大な秘密がありました。

## 石の中のうずまきアンモナイト

三輪一雄文・絵 福音館書店



太古の生き物アンモナイト。その美しいうずまき模様の化石を河原で探してみませんか？  
名前の由来や採集方法等が紹介されています。

## シャイローがきた夏

ネイラー著 あすなろ書房



少年マーティーは、飼い主にいじめられている犬のシャイローと出会います。マーティーはシャイローを救うため、秘密の場所にかくします。

## すばらしいとき

マックロスキーぶんとえ 福音館書店



ある一家が、アメリカメイン州の小島で過ごす春から夏をえがいた美しい絵本です。

## お静かに、父が昼寝しております —ユダヤの民話—

母袋夏生編・訳 岩波書店



ユダヤ人は長い間、世界各地に散らばって暮らしてきました。それぞれの社会で語りつがれてきた、ユーモアのある32の民話と、旧約聖書の物語が6つ入っています。

## 風と木の歌

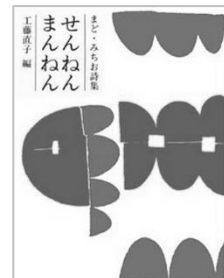
安房直子著 偕成社



こぎつねに青くそめてもらった指で窓をつくってのそくと、もうあえないはずの少女のすがたが見えました。人間や動物や木の精たちのふしぎな童話集です。

## せんねんまんねん

—まど・みちお詩集—  
まど・みちお作 童話屋



「つぼを 見ていると しらぬまに つぼの ぶんまで いきを している」まどさんの楽しい詩が、たくさん収められています。

## それでも、海へ —陸前高田に生きる—

安田菜津紀写真・文 ポプラ社



東日本大震災後、漁をあきらめかけていたじいちゃんを、再び海へ向かわせたのは、孫のしゅっぺの言葉でした。陸前高田の港町で生きる人々を力強く写真で伝えます。

## ことばハンター —国語辞典はこうつくる—

飯間浩明著 ポプラ社



数年に一度内容が見直される国語辞典。その編纂者である著者は、「現在」使われている言葉を求めて、本やテレビ、街で出会う言葉を観察しています。

## ☆ ジム・ボタンの機関車大旅行

エンデ作 岩波書店



小さな島国フクラム国に、ある日、なぞの小包が届きます。中にはなんと赤ん坊が！その子は、ジム・ボタンと名づけられました。

## だいきりき 大力のワーニャ

プロイスラー作 岩波書店



ワーニャは三人兄弟の末っ子で、この上ないなまけものでした。ところがある日、知らない老人に「おまえが皇帝になる」と告げられて、冒険の旅に出ます。

## つきしろあおふねやま 月白青船山

朽木祥作 岩波書店



夏休み、兵吾と主税の兄弟は鎌倉の大叔父の屋敷で過ごすことに。地元の少女静音と遊ぶようになった二人は、ある日、見知らぬ谷に迷こんでしまいます。そこは時がとまった不思議な場所で…。

☆はシリーズのあるもの